

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット3)

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 事業所番号, 法人名) and Value (e.g., 0171400146, 社会福祉法人 敬聖会).

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL: https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action\_kouhyou\_detail\_022\_kihon=true&JigyosyoCd=0171400146-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 評価機関名, 所在地) and Value (e.g., 企業組合グループ・ダイナミクス総合研究所 介保調査部, 札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階).

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者と職員が生活を共にするという考えを大切に、ゆったりとした空間であるよう努めている。年齢による心身変化についても事業所看護師、敷地内協力病院と密に典型を取り、出来る限り本人と家族意向に沿って対応出来るように努めている。ケアの質向上を目的に職員個々レベルに応じた研修への参加、内部研修を行いスキルアップに励んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、函館市の北部に位置する桔梗町の丘陵地にある2階建て4ユニットのグループホームである。敷地内には、法人グループの医療機関や老人保健施設、ケアハウスが併設されており、生活と入院がシームレスに対応できる環境が整っている。また、環境面としては自然に囲まれ、函館山や市内が一望でき眺望が良い地区である。運営法人は、医療法人を母体とした社会福祉法人がケアハウスとグループホームを運営しており、当事業所は、介護保険制度開始後間もなく開設したグループホームで24時間の医療支援体制を構築している。ホーム内は、1フロア2ユニットの2階建て4ユニットで、玄関を挟んで左右対称にユニットがあり、ユニット毎に玄関を設置している。一つひとつの区画が広く設計されており、入居者がユニット間を往来できる環境であるため散歩することも可能である。居間には、大きなテレビが設置され、畳の小上がりもあり、広くゆったりしたりリビングで入居者はいつも寛いで過ごしている。また、居室には、トイレと洗面台が設置されプライバシーに配慮している。コロナ感染対策により外出等は控えているが、家族や友人との直接面会ができるようになり、可能な限り家族との絆を維持できるように努めている。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: Item No., Item Description, Achievement Level (e.g., ほぼ全ての利用者が), and Achievement Level (e.g., ほぼ全ての家族と).

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                   |      |   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |   |   |      |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | スタッフルームや玄関等各所の目が届く位置に設置を行っている。又年に一度研修を行いスタッフ一同で共有を行いサービスの提供に努めている。          |      |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している  | お花見、敬老会等の行事を通して交流の場を設けていたが新型コロナウイルスの感染予防として控えていた。個別にお花見や紅葉狩り等のドライブへは出かけていた。 |      |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議にて町内役員、民生委員等に参加して頂き事例を取り上げたケア方法を伝えていたが感染予防の為取り組む事が出来なかった。             |      |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている   | 主に主任を主体に御家族より意見や要望を聞きサービスの向上に活かしている。  |      |                   |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 必要時に連絡を取り困ったことについてアドバイスを頂いたり協力して頂いている。                                      |      |                   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 防犯上夜間の施錠はしているがその他の時間帯は施錠していない。身体拘束についての研修にて学びミーティングでの委員会の実施も行っている。          |      |                   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 勉強会やミーティングにて虐待について学ぶ機会を持ち、保護路のケアと照らし合わせて防止に努めている。                           |      |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                             |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8                           |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 外部の研修には感染予防の為参加することが難しかったが資料や内部研修で共有し必要性のある利用者様がいた際は対応できるようにしている。   |      |                   |
| 9                           |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                       | 入居時や退去時に不安や疑問点を話せるよう、ご家族のペースで話し合いを進め分かりやすい説明を心掛けている。                |      |                   |
| 10                          | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                    | 電話や面会時には日々の状況の報告を行い、ご家族からも聞く時間を設け反映に努めている。                          |      |                   |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                    | 意見交換しやすい環境作りを努めている。又個別に面談を行い目標等の話を聞いている。                            |      |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている    | 理事長は出来る限り顔を出し利用者の現状や職場環境の現状を把握し整備に努めている。福利厚生を整備を通じやりがいのある環境に努めている。  |      |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている       | 勤続年数や力量に応じ研修への参加の機会を設けている。又行事等の内容や段取りを行う際の役割を持ちやりがいを感じられるよう努めている。   |      |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | 法人内での研修や外部での研修会への参加を通じ意見交換や話し合いの場を設けていたが感染予防の為難しかった。                |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている      | 面談時には普段のご本人の様子を引き出せるようリラックスできる環境を作れるよう努め、聞き取り、要望等を聞き思いをくみ取るよう努めている。 |      |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                   |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16                                |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている       | 面談の他来訪、電話での相談を行い、求めている事不安な事を聞き取り関係作りに努めている。                      |      |                   |
| 17                                |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている   | 面談時には家族だけでなく、ご本人からも聞き取りを行う時間を設け必要な支援について見極めを行いサービスを決定している。       |      |                   |
| 18                                |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                      | 出来る事は行って頂けるような場面作りをし、自然と役割を持てるような働きかけによって相互に支えあっていける関係づくりを行っている。 |      |                   |
| 19                                |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている       | 入居前の情報を頂いたり、近況報告をして一緒に現状を見直していけるよう関係づくりに努めている。                   |      |                   |
| 20                                | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                   | ご家族からの情報や、生活歴の把握に努め馴染みの関係が途切れないよう面会に来て頂き継続して行けるよう努めている。          |      |                   |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている               | スタッフが介入したり、気の合う方同士が過ごせるような席の配置をし、孤立せずに関わり合いが持てるように努めている。         |      |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居後も見舞いに行ったり、近況について聞く機会を持ち必要に応じて支援出来るよう努めている。                    |      |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                       | お話出来る方には希望や意向を伺ったりする他行動や言動から意向に添えるように努力している。                     |      |                   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24   |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご家族への聞き取りの他、ご本人との関りの中で情報の収集を行いケアに活かせるように努めている。                  |      |                   |
| 25   |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 記録と情報の入力を行い、それを元にミーティングでの話し合いを行いながら把握に努めている。                    |      |                   |
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一度のミーティングにてモニタリングを行い家族からの意向も聞きながら介護計画を立てている。                  |      |                   |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 記録への反映やミーティングでの話し合いを元見直しを行っている。                                 |      |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人の状態に変化があった際はアセスメントをし直し柔軟に対応できるよう努めている。                       |      |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 病院受診の際に売店に立ち寄り楽しみを持てるよう支援している。                                  |      |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                    | 提携病院にて定期的に主治医の診察を受け、変化があった際は御家族へも報告し希望を大切にしながら医療を受けられるよう支援している。 |      |                   |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している          | 日々の体調観察や服薬情報の確認、処置等の連携を取りながら業務に取り組んでいる。                         |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 病院関係者と情報交換をし状態によって早期退院が出来るようカンファレンスに参加する等して関係作りをしている。面会は感染予防の為難しかった。 |      |                   |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 医師の指示のもと家族との話し合い、事業所で出来る事等については指針を用意して伝えた上で進めていくようにしている。             |      |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 対応についてのマニュアルを作成し、AEDの使用法、応急処置についての講習を受ける等して備えている。                    |      |                   |
| 35   | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 日勤帯、夜間帯想定避難訓練を実施し各スタッフに参加することで対応できるようにしている。                          |      |                   |

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

|    |    |  |  |  |  |
|----|----|--|--|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 虐待や身体拘束、人権等の研修を行い知識を身に付け人権を尊重しプライバシーの確保が出来るよう努めている。    |  |  |
| 37 |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 能力に応じた声かけを行い、必要であれば選択肢を用意するなどし、自己決定が出来るよう働きかけている。      |  |  |
| 38 |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 意思や希望を大切にし、出来る限り時間に縛られずに生活出来るよう支援している。                 |  |  |
| 39 |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 好みの服や、これまで通りにメイク等が出来るよう又理美容は定期的もしくは希望時に利用できるように支援している。 |  |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 配膳や下膳の際には声をかけ、盛り付け等のお手伝いを行って頂いたり、好みの物を手作りし提供する機会を設けている。          |      |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | 水分量についてはチェックシートを活用し食事についても記録を通しスタッフ間で共有している。                     |      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 個人の状態に合わせて歯ブラシ、下ブラシ、スポンジ等を使用し口腔ケアを行っている。口腔ケアが自身で行えない方への介助を行っている。 |      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている  | ここの排泄の間隔の把握に努め声がけやトイレ誘導を行っている。                                   |      |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 看護師を中心に話し合いながら不足な部分を補えるよう工夫しながら取り組んでいる。                          |      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている | 入浴日に関わらず入りたいタイミングで入浴出来るよう努めている。                                  |      |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                  | ここの生活習慣やその時の状態に応じて、日中でも休んで頂いたり、消灯時間にこだわらず過ごして頂く等ここに沿った対応をしている。   |      |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 処方の内容については医師や看護師から説明を受けるほか、最新の処方箋はすぐに見られるところへ置き理解に努めている。         |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | これまでの生活歴や嗜好を大切に、関連した役割をGHでも見つけて行けるように努めている。個々の楽しみの時間が過ごせるように支援している。      |      |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 感染予防の為外出は控えていたが、散歩へ出かけたり、ドライブをしながら外へ出る機会を作っていた。                          |      |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 御家族や御本人から希望がある場合には自己責任にて金銭の所持をして頂いている。                                   |      |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 居室内は固定電話も置けるようにしており設置していない方にも施設の電話を貸し出し、やり取りを出来るよう支援している。                |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に合わせた飾りつけをしている。又、定期的な換気と温度を保つよう心掛け、混乱や不快な気分へとつながる物は取り除き過しやすい空間作りをしている。 |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | ソファの位置や食事の席の工夫をして思い思いに過ごし居心地よく過ごせるようにしている。                               |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居の際には出来るだけ馴染みの物を持って来て頂くようお声がけしており居心地の良い空間作りを行えるように努めている。                |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 状態に合わせて自室の模様替えを行い、手すりを掴みやすい配置にしたりしながら安全に移動出来るよう工夫している。                   |      |                   |